

市民活動促進委員会 第9回会議要録

2005.3.6(土)

コミュニティセンターやす

開会(9時30分)

あいさつ

(事務局)皆様ご苦労様です。会長から体調が悪く会議出席は困難であるとのご連絡をいただいておりますことから事務局で進行させていただきます。本日の会議は、市民活動フォーラムの開催内容、条例制定に向けて協議いただきます。それでは、担当から説明します。

概要

(事務局)資料の確認をお願いします。まず、団体ヒアリングを受けて、団体から行政に対して意見や提案をいただいていることから、ヒアリング内容を関係すると思われる所管課へお渡しいたしました。そこで、特に回答が必要なご意見についてとりまとめたものです。ご一読のうえご確認ください。

前回の委員会で「市民活動促進計画」の最終確認をお願いいたしておりましたが、特にご意見がありませんでしたので、これをもって最終確認とさせていただきます。

本日の議題は、「市民活動フォーラムの開催内容」、「条例制定に向けて」ですが、これまでの委員会の話し合いを受けて、条例化に向けて共通認識をいただくことを本日の会議の目標としています。そこで、配布した資料に基づき、まず、説明させていただきます。

市民活動促進計画は、「誰もが気軽に市民活動をしよう」を目標とし、具体の実践についてご提案いただきました。その中で、市民活動は、新しい公共サービスの担い手であること、協働の原点は市民活動にあることを共通認識としたものです。その協働のまちづくりを推進するしくみこそが、まちづくりに関する条例につながるものであるということでした。また、3月25日開催予定の市民活動フォーラムは、「市民が実践する協働と行政に求める協働」について意見交換いただきます。こうした成果を受けて、次のステップとして条例策定につなげるものですが、その条例は、言い換えるとまちづくりの理念である「人権と環境を土台に生きる意味が実感できる社会」の具現化であります。野洲市のまちづくりの理念は、人権の尊重と環境への配慮を土台とし、推進する手法は協働であること、人権、環境、協働が基本となる自治体の最高規範となる条例こそが求められます。また、その条例は、市民活動促進計画の実践、つまりアクションプログラムの実行を支えるという性格を持ち合わせていると考えられます。そうした整理をさせていただきましたので、班別での話し合いと確認をお願いします。

次に、市民活動フォーラムですが、3月25日開催で、委員会報告と市民活動の実

践報告、行政からの協働についての説明、それを受けて、交流会での話し合いをいただくという流れで構成しています。協働を推進するために必要な条例の議論につながる機会として開催しようとするものです。

以上、事務局からの説明とさせていただきます。

(委員)市民活動促進計画の実践についてですが、市民活動サポートセンターのことなど、さらに具体的に議論することも、条例検討委員会で話し合っていくのか、その辺りの考え方はどうか。

(事務局)特に別組織で検討していただくということではなく、引き続き委員のみなさんで具体の検討をいただくことと考えています。また、センターの設置についても次年度に議論を重ね、翌年度には設置できるよう提言の具現化を図りたいと考えています。さらに、現在の図書館のほほえみ情報交流センターで、市民活動団体の情報交換コーナーなど、できることからまず実践していくことを考えています。

(事務局)それでは、班別での話し合いをお願いします。

～班別協議～

(A班)サポートセンターの具体的な展開や、地域づくりなどランダムな話し合いになった。ほほえみ情報交流センターの運営は、以前に試験的に運営されたが、やはり、受け持つ方が交代で関わったこと、人が変わることがネックになったと思われる。そうした専門的な人材、力量のある人材の配置が大きなポイントであり大切である。専門的に中間支援組織としてのNPOなどが今後のポイントとなる。指定管理制度との関係もあり、そうした機関を受け持つ団体がいるかどうか、ということも課題である。

市民活動の目的は、住んでいるまちをよくしていこうというもので、それが最終目的であり、市民と行政ということで二極化と考えるが、企業や個人商店などもトータルで連携していくことが求められる。サービスを提供するところ、生産者など全ての人を視野に入れて地域づくり、まちづくりを議論していくことが必要。

若い人たちの参加が少ないということで、学校教育にも関わるが、小学校などでも総合学習にも市民の力を積極的に投入し、いろんな場面でボランティアとして関わっていくことが必要で、世代へのアピールにもつながり、地域づくりとして必要である。NPOしみんふくしでは、近江八幡市の旧家を活用して、ボランティア講座なども開催されており、レイカディアの卒業された方なども関わっておられ、そうしたボランティア、市民活動に参画する方をどう啓発していくか、人材養成が大切であることや、情報提供が必要である。ボランティアは、楽しみながらやるということが必要であり、食事をしたりメンバーの懇親の場などの交流も大事なことである。データブックを作成して、リーダーも見えたので、リーダーが交流するような機会も必要である。

(C班)行政とのかかわりということで、市長との意見交換が必要ではないか、ということで、市では「ほほえみ・ときめきトーク」があるが、もっと知らしめるべきである。フォーラムの位置づけについては、これまでの委員会の話し合いを広く知らしめるこ

とが必要で、せっかくの機会であり、十分にPRしていくことが必要であること。全ての方が参加できるような設定も必要である。

(C班) 条例は、難しいイメージがあるので、とりあえずは先進地の条例を学習することも必要。条例とはどんなものか、というイメージをつかむこと。一般市民としては、条例というと「取締条例」というマイナスイメージが強いのではないかと、ということで、そうしたことも払拭していくことから入っていくことも必要ではないか。

また、市民の声が届く場所がほしい。サポートセンターではそうしたことも保障していくことも必要ではないか。

また、住みやすいまちとはどんなまちか、を議論した。コミュニティが希薄化し崩壊しつつある状況があり、いかに再生していくかが、キーワードであること。また、自然をイメージした環境に特化した取組み、例えば、かぶと虫から考える森林の保護など、そうした活動が活発になれば、という意見があった。

人を呼び込むことが第一であり、3月11日には、障害者団体連絡協議会のつどいが開催されるが、すまいる号も参加されるので、みなさんにご紹介し、報告とします。

(D班) フォーラムについての意見が多くあったが、委員会の意見を反映した手作りの開催がよい。主催は、委員会でもよい。活動を紹介する場面、ビデオの上映など、映像でのPRが必要。また、イメージとして難しく思われては人が集まらないので、事前にPRをしていくことや、活動紹介として事前に掲示していくことや、参加者は自由に参加できるような雰囲気が必要。話だけでなく、感覚として訴える公開フォーラムとしていくことが必要。アンケート調査もその場を利用して実施していくべき、感想程度でもよい。サポートセンターの役割や期待することなど。本日の会議終了後、

委員にPRチラシなどもつくっていただくことや、兵主太鼓の演奏など、様々な得意分野で、市民活動の力でもりあげていくことが。

(事務局) 日程的な都合もあり、フォーラムの骨格的な部分については、共通認識いただいているので、15日号の広報には掲載依頼済であり、開催内容の詳細な詰めについては、本日会議終了後、お願いします。

全体の中でご意見をお願いします。市民活動促進委員会としては最終の委員会となりますので、よろしくお願いします。

(委員) 市民活動の促進については、進め進め兵隊進めだけではなく、サポートする人が大切であり、そうでないと、咲いた咲いた桜が咲いた、につながらないので、よろしくお願いします。

(事務局) その他ということで、市民活動促進計画の市長提言については、3月中に日程調整しますので、よろしくお願いします。

(委員) 北村季吟生誕の地北遊遊倶楽部から、北村季吟没後300年記念誌を作成しましたので、みなさんにお配りします。10年くらいかかって集めた資料等で手作りで作成した冊子ですので、参考にしてください。図書館にも寄贈しています。

(委員) 北村季吟の言葉で、このふるさは、野洲の流れを母とし、遠き祖先の銅鐸の暮らしを地に秘めて、三上の山を先人の高き文化を誇りとする、と詠まれた内容があったが、やすのまちづくりの原点でもある。

(事務局) ありがとうございました。それでは以上で、委員会を閉会させていただきます。

閉会 (11 時 50 分)